

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業実績一覧

令和3年度事業実績一覧.xlsx

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (千円) | うち交付金 充当額 (千円) | 事業の実績（主なもの） ①成 果 ②効 果 |
|-----|---------------------|--|----------|----------|--------------|----------------------|--|
| | | | | | | | |
| 1 | 学校保健特別対策事業費補助金 | (感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 小中学校に対し、感染対策用の消耗品費及び備品購入費等の助成を行い、集団感染のリスクの低減を図る。 | R3.4 | R4.3 | 2,403 | 1,203 | ①感染対策消耗品(主な購入品) ・消毒液、ハンドソープ マスク 一式 ・手袋、ペーパータオル、ポリ袋 一式 ・検査キット 一式 感染対策備品(主な購入品) ・網戸設置 5ヶ所 ・エアコン設置 1台 ②感染対策用品を整備することで、児童生徒及び教職員等の感染リスクの低減につながった。 |
| 2 | 保育対策総合支援事業費補助金 | (保育環境改善等事業のうち新型コロナウイルス感染症対策支援事業) 町内保育所に対し、感染対策用の消耗品費及び備品購入費等の助成を行い、集団感染のリスクの低減を図る。 | R3.9 | R4.3 | 1,318 | 659 | ①感染対策消耗品(主な購入品) ・消毒液、ハンドソープ、マスク 一式 ・検査キット、うがい薬 一式 ②感染対策用品を整備することで、児童及び職員等の感染リスクの低減につながった。 |
| 3 | 予防対策整備事業(学校等備消耗品購入) | 小中学校において、感染症等についての外部からの問い合わせの増加に対応するため、電話回線を増設し、さらに体調不良の児童生徒が出た場合に備えて各教室と職員室等にインターホンを設置する。また、学童クラブにおいて利用児童の増加に伴う三密を避けるため、教室を分散することに伴い、警備機器を設置し、安全性を確保する。 | R3.6 | R4.3 | 4,156 | 4,156 | ①インターホン設置箇所数 小学校(2校) 40台 中学校(1校) 19台 警備機器設置 一式 ②機器の設置により、児童生徒の体調不良の際に、より早く対応できるようになった。また、警備機器の設置により、教室を分散することができ、児童等の感染リスクの低減につながった。 |
| 4 | 予防対策整備事業(自動水栓整備) | 公共施設及び小中学校において、手動水栓から自動水栓に改修を行い、集団感染のリスクの低減を図る。 | R3.4 | R4.3 | 13,459 | 13,459 | ①改修箇所数等 小学校(2校) 106ヶ所 中学校(1校) 36ヶ所 総合福祉センター 10ヶ所 老人福祉センター 4ヶ所 隣保館 4ヶ所 B&G体育館等 11ヶ所 ②感染リスクの低減につながった。 |
| 5 | 小中学生修学旅行費助成事業 | 感染対策として、小中学生の修学旅行における宿泊部屋やバスの人員分散のために必要となる費用の助成を行い、感染リスクの低減を図る。 | R3.9 | R4.3 | 782 | 782 | ①小学校必要経費(2校) ・大型バス1台追加及び乗務員1名増員 ・小型バスから中型バスに変更 中学校必要経費(1校) ・バス追加 ②感染リスクの低減につながった。 |
| 6 | タブレット端末整備事業 | 小中学校からの遠隔学習機能の強化事業として、GIGAスクール構想に基づく学習支援の場を整備している中で、平成24年度より事業を実施している町主体の公的塾の講師のタブレット端末を購入し、支援の場を拡大することで、さらなる学習環境の充実を図る。 | R3.4 | R4.3 | 677 | 677 | ①タブレット端末 11台 ②講師用のタブレット端末を導入することで、GIGAスクール構想に基づく学習支援の拡大につながった。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費 (千円) | うち交付金 充当額 (千円) | 事業の実績（主なもの） ①成果 ②効果 |
|----|-------------------|--|-------|------|--------------|----------------------|--|
| | | | | | | | |
| 7 | インフルエンザ予防接種費用助成事業 | インフルエンザに感染すると、小さな子どもや高齢者は気管支炎や肺炎などの合併症を起し、重症化するリスクが高まる恐れがあり、新型コロナウイルス感染症が広がっている今年は特に注意が必要となるため、予防接種の費用を助成することで、重症化リスクの低減を図る。 | R3.9 | R4.3 | 3,001 | 3,001 | ①18歳以下の者の対象接種件数 564件 65歳以上の者の対象接種件数 1,030件 ②インフルエンザとの同時感染による重症化リスクの低減につながった。 |
| 8 | 疾病予防対策事業費等補助金 | (新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業) 高齢者等へのPCR検査費の助成を行い、感染拡大防止を図る。 | R3.4 | R4.3 | 20 | 10 | ①実施者数 1人 ②感染拡大防止につながった。 |
| 9 | プレミアム商品券助成事業 | 商工会が実施するプレミアム商品券を発行する事業に係る経費の助成を行い、感染症の影響により落ち込んだ地元経済の早期回復を図る。 | R3.6 | R4.3 | 850 | 850 | ①プレミアム率の増加及び増刷分 850千円 ②地元経済の早期回復につながった。 |
| 10 | 情報発信事業 | KBC九州朝日放送が放送する「ふるさとWish」の協賛を行い、町の新型コロナウイルス感染症等に関する情報が1人でも多くの住民に正確に周知されるよう努める。 | R3.4 | R4.3 | 1,100 | 1,100 | ①広告宣伝に係る経費 一式 ②感染症等に関する情報を、より多くの住民に周知できた。 |
| 11 | 情報発信事業 | KBC九州朝日放送が提供しているdボタン広報サービスを整備し、町の新型コロナウイルス感染症等に関する情報が1人でも多くの住民に正確に周知されるよう努める。 | R3.9 | R4.3 | 2,420 | 2,420 | ①広告宣伝に係る経費 一式 ②感染症等に関する情報を、より多くの住民に周知できた。 |
| 12 | 子ども・子育て支援交付金 | 学童クラブに対し、感染対策用の消耗品費及び備品購入費等の助成を行い、集団感染のリスクの低減を図る。 | R3.12 | R4.3 | 219 | 75 | ①感染対策消耗品(主な購入品) CO ₂ モニター 消毒液、マスク、ペーパータオル 一式 ②感染対策用品を整備することで、児童及び職員等の感染リスクの低減につながった。 |
| 13 | 緊急雇用創出事業 | 感染症の影響により、働く場を失った人を対象に雇用の場を創出し、短期間ではあるが、早期再就職を促進し、離職者の生活の安定を図る。 | R3.4 | R4.3 | 695 | 347 | ①会計年度職員1名雇用 補助金対象雇用期間 3ヶ月 ②雇用の場を作ることで、当事者の生活の安定を図った。 |
| 14 | ワクチン接種者対象商品券配布事業 | 新型コロナワクチンを接種した人を対象に商工会が発行する商品券を配布し、コロナの終息を促進し、且つ感染症の影響により落ち込んだ地元経済の早期回復を図る。 | R3.9 | R4.3 | 41,356 | 41,356 | ①商品券の配布額 38,670千円 商品券の換金率 99.6% ②ワクチン接種による重症化リスクの低減及び地元経済の早期回復につながった。 |
| 15 | 文化芸術振興費補助金 | (文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業) 公共施設であるふるさと館おおうにおいて、感染対策のために必要な備品及び配信機器等を整備し、オンライン配信等ができる環境の充実を図る。 | R3.9 | R4.3 | 1,315 | 657 | ①小型AIサーマルカメラ 一式 空気清浄機 一式 パソコン 一式 ②感染対策用品を整備することで、利用者の感染リスクの低減につながり、また配信機器を整備することでオンライン配信等ができる環境の充実につながった。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費 (千円) | うち交付金 充当額 (千円) | 事業の実績（主なもの） ①成果 ②効果 |
|----|----------------------|--|-------|------|--------------|----------------------|--|
| | | | | | | | |
| 16 | 地方創生テレワーク推進交付金 | 感染対策の一環として、多くの企業や自治体等でも在宅ワークが広まっている中で、町内の公共施設を改修してサテライトオフィスを整備し、誘致した企業に対し、助成金の交付を行うなど、ウィズコロナに合わせた働き方の多様性に寄与する。 | R3.4 | R5.3 | 97,415 | 48,708 | ①改修工事及び業務委託 一式 ②公共施設の改修を行い、テレワーク事業の推進としてサテライトオフィスを整備することで、ウィズコロナに合わせた働き方の多様性に寄与できた。 |
| 17 | 予防対策整備事業 | 公共施設及び小中学校等において、感染対策用の消耗品及び備品を整備することで、感染リスクの低減を図る。 | R3.4 | R4.3 | 5,688 | 5,688 | ①感染対策消耗品（主な購入品） ・消毒液、ハンドソープ、マスク 一式 ・手袋、ペーパータオル、検査キット 一式 感染症対策備品（主な購入品） ・小型サーモカメラ 6台 ②感染対策用品を整備することで、児童生徒及び施設利用者の感染リスクの低減につながった。 |
| 18 | 事業者支援事業 | 道の駅に対し、感染症対策用の消耗品及び備品を整備するための補助金を交付し、感染リスクの低減を図る。 | R3.12 | R4.3 | 5,270 | 5,270 | ①補助金額 5,270千円 感染症対策消耗品（主な購入品） ・マスク、消毒スプレー 一式 感染症対策備品（主な購入品） ・空気清浄機 9台 ・消毒液噴霧スタンド 7台 ②補助金を活用して感染対策用品を整備し、感染リスクの低減につながった。 |
| 19 | 子ども・子育て支援交付金 | （利用者支援事業・地域子育て支援拠点事業（特例措置分）） 子育て支援センターに対し、感染対策用の消耗品費及び備品購入費等の助成を行い、集団感染のリスクの低減を図る。 | R3.9 | R4.3 | 600 | 200 | ①感染対策消耗品（主な購入品） ・消毒液、マスク、検査キット 一式 感染症対策備品（主な購入品） ・抗菌マット 一式 ②感染症対策用品を整備することで、施設利用者等の感染リスクの低減につながった。 |
| 20 | 子ども・子育て支援交付金 | （放課後児童健全育成事業（特例措置分）） 学童クラブにおける感染症対策用の消耗品等の購入及び感染症拡大に伴う臨時休校時に、町内の公民館等を利用し、児童の見守り事業を実施することで、共働き世帯等の支援を図る。 | R3.4 | R4.3 | 372 | 134 | ①利用件数 198件 ②児童の見守り事業を実施し、共働き世帯等の支援につながった。 |
| 21 | 予防対策整備事業（学校トイレ洋式化事業） | 小中学校の和式トイレを蓋のある洋式に改修することで、排泄物等の飛沫拡散による感染リスクの低減を図る。また、学校は災害時等に避難場所となり、地域住民が利用する機会もあるため避難所としての機能向上も見込める。 | R3.4 | R4.3 | 928 | 928 | ①改修箇所数 小学校(2校) 2カ所 中学校(1校) 2カ所 ②改修により、感染リスクの低減につながった。 |
| 22 | 小中学校LED化整備事業 | 感染症の影響により、GIGAスクール構想が進む中で、授業でタブレット端末や電子黒板を活用する機会が増えてきており、以前より目を酷使する学習環境において教室内の照明が重要な要素となっている。さらに学校における集団感染のリスクを避けるため、分散授業を実施していることから、空き教室をLED化することで、学習環境の充実を図る。 | R3.4 | R4.3 | 1,237 | 1,237 | ①実施教室数 小学校(2校) 7教室 中学校(1校) 2教室 ②分散教室による感染リスクの低減と、より良い学習環境の整備ができた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (千円) | うち交付金 充当額 (千円) | 事業の実績（主なもの） ①成 果 ②効 果 |
|----|----------------|--|----------|----------|--------------|----------------------|---|
| | | | | | | | |
| 23 | 地域少子化対策重点推進交付金 | 感染症拡大による近年の婚姻の状況、経済的打撃や将来不安が結婚に及ぼす影響等を考慮し、町内在住の新婚世帯に対して婚姻に伴う居住費や引っ越し費用等の助成を行い、経済的支援を図る。 | R3.4 | R4.3 | 1,100 | 367 | ①申請件数 5件 ②対象者の居住費や引っ越し費用等を助成することで経済的支援につながった。 |
| 24 | 疾病予防対策事業費等補助金 | (マイナンバー情報連携体制整備事業) 従来の健康管理システムをマイナンバー情報と連携できるようにシステム改修し、一元管理することで、感染症予防における予防接種記録等が閲覧可能となり、感染症の感染疑いがある場合に、重症化の目安等が容易に鑑別できるようにする。 | R3.4 | R4.3 | 88 | 30 | ①システム改修 一式 ②改修により、感染症関連データの管理が容易となった。 |
| 25 | 疾病予防対策事業費等補助金 | (健(検)診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業) 健康管理システムを改修し、個人の健康診断結果や服薬歴等の管理情報を、本人や家族が、正確に把握するための仕組みであるパーソナルヘルスレコード(PHR)で電子記録として管理することで、健診時の問診で、病歴等を聴取する際に、感染症の罹患歴等を確実に把握することができるようにする | R3.12 | R4.3 | 690 | 250 | ①システム改修 一式 ②改修により、感染症関連データの管理が容易となった。 |
| 26 | 大任町応援給付金(事業所) | 感染対策を余儀なくされている町内の事業所に対し、給付金の支給を行い、経済的支援を図る。 | R4.1 | R4.3 | 5,100 | 5,100 | ①対象事業所数 39事業所 ②対象事業所に給付金を支給をすることにより、経済的支援につながった。 |
| 27 | 職員PCR検査助成事業 | 感染拡大が進む中、周囲に感染者や濃厚接触者が出た場合、安心して出勤できるよう、役場職員に対し、PCR検査費の助成を行い、感染拡大防止を図る。 | R3.4 | R4.3 | 217 | 217 | ①実施者数 9人 ②感染拡大防止につながった。 |
| | | | 合 計 | | 192,476 | 138,881 | |